

柵水高原

柵水高原は、緑の草原が広がる高原で、眺望は見事です。また、ここには、植物や蝶、鳥などの多くの生物がいます。この高原からは、大山の西側の姿を目にすることができます。大山は富士山に非常によく似た姿形をしていることから、伯耆富士あるいは出雲富士とも呼ばれます。伯耆とは鳥取県西部の昔の名称です。高原の下に広がる地域は、日本海沿岸の美しい風景が特徴です。そこには、弓ヶ浜半島、境港、隠岐の島々があります。また、夕方の日本海に日が沈むのは壮大な光景です。

「柵水」の意味

「柵水」という名前は、水晶のように澄み切った水を意味すると信じられており、非常に水質の良いことを言っているのです。また、年間を通じて水が途切れることなく供給する水源であると言われ、農業に従事する人たちや旅人たちは柵水の名高い泉で足を止め、喉の渇きを癒やしたのです。